市民サロン

このページは市民の皆さんが作るページです。短歌、俳句、川柳などの文芸作品やどんなことでも結構ですので皆さんのご意見をお気軽にお寄せください。
締め切りは毎月10日です。
あて先は南国市企画課市民サロン係（〒783南国市大埔甲2301）です。

珍しい防犯パレードの様子について、中村さんからいただいた投稿を紹介します。

南国警察署柔道場で週三回開かれている中村柔道教室（代表中村昭弘さん）。

今回は、この教室の少年たちが行っている全国でも珍しい防犯パレードの様子について、中村さんからいただいた投稿を紹介します。

中村柔道教室（南国警察署少年柔道教室）では、昭和六十二年度より毎年春四月に「春の全国交通安全週間」に合わせて交通安全のキャンペーンを行っています。

これは、南国バイパス、物部インターチェンジから高須の豚太郎本部前までを五区に分けて、駅伝形式で走るもので、全員が柔道着姿でスローガンを書いた手旗を持ちます。

秋の「全国防犯週間」には、後免町商店街および周辺を、これも防犯啓発のスローガンを書いた手旗を持って行進し、市民の防犯意識の高揚を図るのです。

この年二回の、当柔道教室による社会活動は、全国の署の青少年健全育成活動の中でも大変めずらしい行動らしく、高知県警の防犯少年課でも好評を得ています。

子供たちが柔道を修得するかたわら、こういった社会的活動に自主的に参加することは自ら社会のルールを守ることの大切さを学ぶことはもとより、地域社会の防犯および交通安全の確立に微力ながら貢献しているものと考えます。

今後も道場が存続する限り、続けていくつもりです。

そろそろ出番だ
葛目義人（岡豊町）

南国歌壇

入浴にてかばいて食す漬物を
きざみておりぬありし母まねて　立田北村幸江

今日逢へば彼岸花も咲きました
浜浮文はす友も逝きたり　大埔田所志奈

赤や黄みどり眺りなす山の紋
きれいきれいと声車内にはじく　里改田岡田桂子

しがらみの瀬越しに集ふぬばたまの
鶴の群れに白鷺一羽　三島有元一馬

秋深く学徒出陣に逝きし人の文
読めば逝いたし昔にも昔にも　植野中司愛子

除夜の鐘百に一段近くなり　十市沢村鶴一

ワケ知らぬ家山子に寝のアキレ顔　田村川口岩春

年一度会える赤しみ運動会　十市八松久幸

南国俳壇

ひらひらと人来る気配金木犀　里改田福井英子

しじみ塚たどってゆけば花野風　里改田福井博子

驚きいて黄の曼珠沙華植え続く　里改田岡田寿子

丑蛙寺の日暮れを深くする　大埔川田玉恵

仏壇を大きく開く居待月　下野田藤原悦子

出雲阿国が通って咲いた曼珠沙華　下野田橋本純子

荒れ畑や柿のみ赤し父母の墓　久礼田澤村良

秋灯や名前縫とる荒行衣　田村久保仁子

稲田に下りし夜鷺のかやかやと　浜改田竹島いはほ

新蕎の足半草履神輿昇　片山市原遊亀

われら仲間サークル

全国大会出場を目指して

今回は三和のママさんバレーボールチーム「三和こんぴら」を紹介します。

◇　◇

家事を済ませ、メンバーたちが一人、二人と三和小学校の体育館へ集まってきます。

「三和こんぴら」チームの練習日は毎週水曜日と金曜日の午後八時から。監督の中田宗敬さんを中心に二十歳代から五十歳代のママさん約二十人が練習に心地よい汗を流しています。

このチームはみんなバレーボール経験者で、基礎は十分。エースアタッカーでキャプテンの中沢史江さん、セッターの細川綾子さん、レシーブの安岡茂乃さんら実力派選手をそろえ、春の県大会二年連続優勝などの成績を持っています。特に中沢さんと細川さんは香長中時代の同級生で、コンビを組んで全国大会に出場したこともあり、息はピッタリ！

「若い者とベテランとの関係がとてもいいんですよ。試合中、メンバーのプレーがちぐはぐなとき、ベテランが気合いを入れてくれると身がひき締まります」とチームワークも抜群で、皆さん真剣に、かつ楽しくプレーしています。

最後に中沢さんから一言。

「仕事をして家事を片付けてからの練習はしんどいですが、とても充実しています。目標は全国大会県予選を勝ち抜き、東京へ行くこと。それに向かってみんな頑張っています」

◇　◇

このコーナーでは、同じ趣味を持った方たちの楽しい活動風景を紹介しています。

「私たちのサークルを取材してほしい」と思われる皆さん、ぜひご応募ください。

◪応募方法　サークルの代表者の氏名、住所、電話番号、活動場所、それに活動内容を葉書に明記

◪あて先　〒783南国市大埔甲二三〇一　南国市企画課広報統計係

これはなんでしょう

答えについての思い出などもお待ちしています。

◪しめきり　12月10日

◪あて先　〒783　南国市大埔甲二三〇一　南国市企画課　親子クイズ係

◪賞品　正解者の中から抽選で5人の方に図書券を進呈

◪第26回親子クイズの答えに、絵の具でした。

第27回当選者葉書（敬称略）（応募総数8通）

おざきみわ（大埔）
井上艶（福生）
土居巧弥（十市）
土居裕美（十市）
武田さとみ（岡豊町）

前月の答の中から皆さんの思い出の一部をご紹介します。

◆白と赤を混ぜるとピンクになり、黄と青を混ぜると緑になることを子供のころ発見し、色の不思議さを感じました。

◆田舎から出てきて一人で暮らしているとき、突然絵が描きたくなり、絵の具を買いに行きました。

◆小学校三年のころ、学校で飼育していたにわとりの絵を描き、県展に入選しました。それ以来絵を描くのが大好きになり、今でも時々描いています。

◆絵の具ってなぜか白が大きいんだよね。他の色の大きいのってあんまり見たことないですネ。

◆子供の絵の具をみていると、私たちの子供のころにはなかった色がたくさんあり、驚かされます。

◆チューブの中のクリームを出しすぎてずいぶん困惑した思い出があります。

◆絵の具といえば、小学校の夏休み、宿題にだされた図画のことを思い出します。毎年早めに描こうと思うのですが、いつも取りかかりが遅く、八月三十一日の夜中までかかってぬり、よく母に怒られたものでした。

◆今は絵の具を使って絵を描くことなんてほとんどなくなってしまいました。